

2019年11月3日

## 福音書からのメッセージ

イエスはその場所に来ると、上を見上げて言われた。「ザアカイ、急いで降りて来なさい。今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい。」（ルカによる福音書 19章5節）

今日の福音書は、ザアカイの物語です。ザアカイは徴税人の頭で金持ちでした。当時ユダヤの国はローマ帝国に支配されていました。ローマはユダヤの人々から徴税するために、ユダヤ人の徴税人を雇っていました。彼らの多くは、徴税額より多くの額を徴収することによって、自分たちの懐を潤していました。

ですから彼ら徴税人は、ユダヤ人から嫌われていました。重い取り立てによって自分たちの生活が圧迫されるということもあります。そして自分たちユダヤ人を裏切ってローマの手先になったということも、彼らが嫌われた理由の一つでしょう。

ある日ザアカイの耳に、イエス様がエリコの町を通られているという噂が入ります。ザアカイはイエス様がどんな人か見ようと、出かけます。なぜザアカイがそのような思いを持ったのかはわかりません。物珍しさからなのか、一度話を聞いてみたいと思ったのか、あるいは自分を変えたいと思ったのか。聖書はそのことについて、何も触れていません。

ザアカイはイエス様が通る道の近くまで来ました。しかし群衆が邪魔で、イエス様を見ることができません。普通であれば、前の人にかがんでもらったり、道を開けてもらったりできたかもしれません。しかし彼はユダヤ人から嫌われていました。だから近くの木に登ってイエス様を見ることにしたのです。

そしてイエス様は、大勢の群衆を引き連れながらザアカイの真下に来ます。すると通り過ぎることなく、ザアカイを見上げて



言われま  
す。「ザア  
カイ、急い  
で降りて  
来なさい。  
今日は、ぜ

ひあなたの家に泊まりたい」。

この言葉に対し、ザアカイは喜びます。きっとこんなに優しく「ザアカイ」と呼ばれたのは久しぶりだったことでしょう。直後のザアカイの言葉から、自分は貧しい人を苦しめ、だまし取るようなことをしてきた自覚があったようです。だからなおさら、イエス様の呼びかけが心に届いたのでしょう。

ザアカイの物語は、わたしたちにイエス様とはどのような方なのか、教えてくれます。わたしたちは生きてい中で、たくさんの過ちを犯します。本当であれば、神さまに顔向けできないようなわたしたちです。しかしイエス様は、そのようなわたしたちの元に来られ、名前を呼んでくださるのです。

罪深いザアカイのところに宿を取るイエス様を、周りの人たちは非難します。そんな彼らにイエス様は言われます。「人の子は、失われたものを捜して救うために来たのである」と。人の子、つまりイエス様は、神さまから離れていった人たちを呼び、招くために来られました。わたしたちにも、「〇〇、急いで降りて来なさい。今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい」という言葉が掛けられているのです。

### 桃山基督教会

〒612-8039

京都市伏見区御香宮門前町 184

TEL/Fax 075-611-2790

メール momoyama.kyoto@nssk.org

<教会ホームページ>

<http://momoyama.hannari.com/>